



## 「子どもまちづくりセンター1日所長体験」

小学5・6年生の子どもたちが、地域のまちづくりの拠点である「まちづくりセンター（通称：『まちセン』）」の所長の仕事を体験するイベントが行われました。これは、子どもが将来のまちづくりの担い手として地域の活動へ参加するきっかけとなるよう、市民まちづくり局が企画したものです。

開催日の8月5日（金）には、市内4つのまちセン（麻生、元町、厚別東、発寒）で18名の子どもが「1日所長」の任命を受けました。各所長からまちセンの仕事などについての説明を受けた後、モバイル端末を使用しながら地域の方取材しました。その内の1つ麻生まちづくりセンターでは、地域の商店街の方が中心となり作った「けっぱれ地蔵」の由来や、和光小学校前の花壇をまちセンや町内会、小学校の共同で整備していることなどを取材しました。



午後は、市役所に集まり、午前中に取材した内容を動画を交えて市長に報告を行いました。参加した子どもたちからは、「自分たちが知らないところで、地域の人がいろいろな活動をしていることを知ってびっくりした。子どものための活動もあり、とても勉強になった。」と語ってくれました。市長からは、「これからは近くのまちセンにも興味を持ってもらい、自分にもできるまちづくりをしてもらいたい。みんなで札幌をいいまちにしましょう。」と子どもたちへのメッセージが送られました。



## 札幌市からの お知らせ

札幌市では、子どもの権利について、職員が地域に出向いて説明する出前講座を行っています。

- 10人くらいのグループ
- 市内に会場の確保をお願いします。
- 1か月くらい前にご連絡ください。

お申込みは下記の、  
子どもの権利推進課へ



子どもがきらりと輝くまちに

# 子どもの権利 ニュース

The Rights of the Child

第5号  
平成23年10月発行

## 未来発見ツアー

～東月寒まちづくり協議会「童夢」～

8月5日（金）、豊平区の東月寒地区では未来発見ツアーが開催され、地域の小学生とその保護者などが参加して、地区内の企業や施設などの見学をしました。

東月寒地区では、地域の中で子どもの成長を支えるため、町内会をはじめ、地域団体や企業などが協力して、まちづくり協議会「童夢（どーむ）」を設立し、防犯や農業体験などの取組を行っています。

この「未来発見ツアー」は、親子で地域のことや最新の科学技術などについて楽しく学ぶバスツアーです。4回目となる今回、童夢では、子どもたちが地域に対し関心や愛着を持つとともに、自分の将来について考える機会にできないか議論を重ね、準備を進めてきました。

行事の開催されたこの日は、しらかば台小と羊丘小の親子に地域関係者など総勢34名がまちづくりセンターに集合し、協議会会長の船越一珠子さんから地域の特徴や



歴史などについて説明を聞いた後、ツアーに出発しました。

まず最初に訪れた札幌トヨペット月寒店では、スタッフからエンジンの働きなどについて話を聞き、その後、みんなで自動車のパーククラフトづくりに挑戦しました。何気なく乗っている自動車がどんな仕組みで動いているのか分かりやすく教えてもらい、子どもたちは満足した様子でした。

次の訪問先は、札幌市役所本庁舎の市議会で、三上洋右札幌市議会議員や議会事務局職員から議会の仕組みについて話を聞き、議場などを見学しました。子どもたちは、市議会議場の厳粛な雰囲気に触れ、市民から選ばれた議員が大切な話し合いをする場所だということを実感できたようです。

最後の訪問先の産業技術総合研究所北海道センターは、科学技術に関する国の研究機関で、バイオ技術やエネルギー資源に関する研究を行っています。自分たちの住む地域で、最先端の研究開発が行われていることに、参加者の皆さ

んはとても感心した様子で、熱心に説明を聞いていました。その後、子どもたちは研究員と一緒に、水や氷の性質について調べる実験を行いました。白衣を着て、研究員からいろいろ教えてもらい、科学者になった気分を楽しそうに実験をしていました。

船越会長は、今回の未来発見ツアーについて、「子どもたちが自分の将来や職業について考える時、今回経験したことを何か一つでいいので思い出して、役立ててくれたらうれしい。」と子どもたちを見守りながら語ってくれました。今回、参加した子どもたちも、「いろいろな体験ができてよかった」「勉強になった」と、とても充実した様子で、自分たちの地域や将来に関心を持つよい機会になったようです。



## 子どもイベント情報

### 2011 さっぽろ子育て支援推進のつどい

日時 11月2日（水）12：00～16：00  
場所 かでる2・7（中央区北2西7）  
お問い合わせ 札幌市子ども未来局子育て支援総合センター ☎208-7961

「さっぽろ子育て支援推進のつどい」は、札幌市の子育て支援ネットワークを強化し、子育て支援の環境づくりを推進することを目的に毎年開催しています。

今年は、「広がる子育てサロン」をテーマに、参加者の皆様とともに、子どもを健やかに育てるために地域の力を活かし支え合える社会づくりについて考えてみたいと思います。

### 札幌市青少年育成大会

日時 11月19日（土）13：30～15：30  
場所 かでる2・7（中央区北2西7）  
お問い合わせ 子どもの権利推進課 ☎211-2942

さまざまな分野で活躍する青少年等の表彰のほか、青少年の健全育成に関する講演会を行います。

### おはなしマルシェ

日時 10月23日（日）10：00～12：00  
場所 札幌市中央図書館1階童話の部屋（中央区南22西13）  
対象 幼児～小学校低学年70人（当日先着・申込不要）  
お問い合わせ 中央図書館管理課 ☎512-7330

「あき」と「むし」をテーマとして、読み聞かせやパネルシアターによるおはなしや、折り紙を親子で楽しめます。

### 子どもの権利フェスタ

日時 11月20日（日）13：00～16：00  
場所 札幌エルプラザ（北区北8西3）  
お問い合わせ 子どもの権利推進課 ☎211-2942

子どもにとって大切な権利について考えるためのイベントです。株式会社植松電機の植松務氏による講演会や、子どもの活動発表会などを通じ、子どもの豊かな成長と大人の役割について考えます。

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課  
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階  
電話 011-211-2942 ファックス 011-211-2943  
ホームページ「子どもの権利のページ」<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/>  
Eメール [kodomo.kenri@city.sapporo.jp](mailto:kodomo.kenri@city.sapporo.jp)

子どもの最善の利益を実現するための  
権利条例\*があるまち さっぽろ





# ～学びのスイッチを入れるコツ～

ご存知ですか？札幌市内には沢山の「おもしろ自然スポット」があることを！？

カツラの巨木、その根元には大人がすっぽり入れる大きさのウロ（穴）、足元にはネズミが食べたクルミの殻、オタマジャクシにトンボの幼虫、カリカリと音がすると思えばエゾリスがクルミを割っ



ている…。これらは西岡公園や円山公園など札幌市内の公園で見つけることができます。

そこで、子どもと一緒に近くの公園に散歩に行ってみてはどうでしょう？

子どもは遊びの天才。森に放てば勝手におもしろいモノを見つけてくることでしょう。

その時に、子どもの発見を深める2つのコツがあると考えています。

例えば、子どもが葉っぱに興味を持ったら「それは何色？どんな形？ギザギザ？ツルツルしてる？」と、葉っぱの詳細を聞いて深める方法。



NPO 法人ねおす理事  
あらい かずひろ  
荒井 一洋 さん

札幌出身。NPO 法人ねおすで、交流による学びと成長をテーマに、エコツアーや子どもの自然体験活動を実施している。3人娘の父。

もう一つが「どこにあった？どんな木についてた？同じ木はあるかな？」と、その葉っぱから木へ、木から環境へと視野を広げていく方法です。

子どもの発見をうながす「マジックワード」をかけて見てください。

すると、どうでしょう？

子どもが見つけたひとつの発見が、次の新しい発見へ展開されるでしょう。発見の連鎖が生まれると子どもたちは飽きないし、「次は何があるかな？お母さんやお父さんには負けないよ！」と、主体的に探しはじめることなのでしょう。こうなればシメタモノ！学びのスイッチがはいれば、自動的に子どもが自分で発見し自分で学んでいくことなのでしょう。

まさに、自然は大きな教室ですね。



## 子どもの権利委員会を振り返って

札幌市が、子どもの権利条例に基づき設置している「札幌市子どもの権利委員会」の第一期の高校生委員として参加した3人から委員会を振り返ってコメントを寄せていただきました。



**小栗委員** 私の将来の目標は小学校の教師になることです。そこで、子どもの権利に関して市はどのようなことをしているのか知りたくて権利委員会に応募しました。

最初の内は、まず話し合いの内容を理解することだけで精一杯で、自分で考えて発言するということはなかなか難しかったです。しかし、他の委員の方が分かりやすい部分で私に話を振ってくださるおかげで少しずつ自分の意見を言えるようになりました。

私が委員会に入って最も強く感じたことは、条例や委員会の認知度をどうすれば高めていけるのだろうかということ。私は教育関係の大学に通っていますが、子

どもと関わる大学であるのにもかかわらず、周囲の認知度は高いとは言えません。まず、この認知度を高めていくことが重要だと考えています。権利委員会の任期は2年ですが、それが終わっても積極的に市政に関わっていきたいです。また、この経験を将来に活かしたいと考えています。

**井戸委員** 委員会に入りたての頃、周りは大人の方ばかりでこの中で自分は役に立てるだろうか不安でいっぱいでした。しかし子どもの私の意見を他の委員の皆さんはしっかりと聞いてくださりましたし、子ども達との意見交換会などの活動もとても素敵な経験になりました。他の高校生にはでき

ない経験を権利委員会を通してできて本当によかったです！

**中出委員** 私は2年間高校生委員としてたくさんの議論に参加させていただきました。まず驚いたのが、札幌市は我々市民や子どものことをいかに考え、気にかけていたかということです。私は市がこんなにも人々のことを考えているなんて思っていませんでした。子どもの権利委員会は私に普通にしては分からないことをたくさん教えてくれました。これからも委員会で学んだことを生かして、たくさんのことを考え、何事にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。

### 札幌市の子ども参加 市長政策室 「子ども出前講座」 ～将来のまちづくりについて 子どもたちと話し合う～



現在、札幌市では、今後4年間のまちづくりの基本となる新しい計画を検討していますが、その取組を子どもたちに知ってもらうとともに、子どもたちから出てきた意見などを参考に、子どもの視点を大切にしたいまちづくりを進めていこうと考えています。その一環として、計画策定を担当する市長政策室では、職員が小学校や中学校に出向き、子どもたちに直接、札幌市の計画についての考え方を説明し、まちづくりについての意見交換を行う「子ども出前講座」を開催しました。

出前講座初日の6月17日（金）は、清田区の清田南小学校で開催

され、3年生およそ100人が参加しました。講座では職員が児童会館や図書館、公園、動物園など子どもたちに身近な施設を紹介し、市役所の役割や子どもとの関わりを分かりやすく解説するとともに、太陽光や雪などの自然エネルギーの利用、新幹線の誘致など将来のまちづくりについて説明しました。子どもたちも講義の内容に関心を持ったようで、「環境のためにもっといろいろなところにソーラーパネルを設置してほしい」、「北海道で新幹線に乗れたらうれしい」など感想を話してくれました。

また、6月28日（火）に北区の

あいの里西小学校で6年生を対象に行われた講座では、講義のあと子どもたちが班ごとに、札幌をどんなまちにしたいか話し合いました。話し合いでは、「災害に強い安心なまちにしたい」、「エアコンをやめて扇風機を使うようにする」、「北海道の食材をもっと広めたい」、「スノーホッケーを広めたい」などたくさんの意見が出され、とても充実した講座になりました。

この他にも市長政策室では、計画に関する子ども向けの資料を作成して意見を募集するなど、できるだけ多くの子どもの意見が計画に反映されるよう取組を進めていく予定です。

